



## エコクリティシズム研究学会

事務局便り No.5 March 10, 2015

---

<http://www.ses-japan.org/>

事務局便り第5号 Web版をお届けします。新しい学会アイコンについて、今年度大会のご案内、昨年度大会報告、新入会員のご紹介、各種委員会情報、会費納入のお願いを掲載しています。

~~~~~

### 新しい学会アイコンについて

まだ世界でも草創期にあったエコクリティシズムが日本に導入されて間もない1994年、エコクリティシズム研究学会の前身であるエコクリティシズム研究会が発足して今年で21年目になります。20年目の去年、会員のみなさんから学会アイコンのデザインを募集し、僅かでしたが応募のあったものを基に、この方面に明るい方々に相談し、信州大学の社会心理学者でいくつかこうしたものを手掛けてこられた菊池聡先生に経緯をお話しし、デザインしていただきました。2014年の神戸での大会でいくつか候補を総会で見ていただき、その結果も踏まえてご覧のような形に出来上がりました。関係各位のご尽力に感謝いたします。葉や地球儀には陰影や光が微妙に描きこまれ、アイコンというよりはデザイン画に近いものです。色々なテキストやイメージを思い浮かべる方もいるかもしれません。どんなストーリーを想起し何を読み込むかは見る人次第です。

研究会の報告誌を4冊出した後ジャーナルが正式に発足したのは2008年であり、その際横田由理編集長の下、今年度編集長の真野剛氏のご尽力で、おなじみの葉っぱと水の円形のジャーナルのアイコンが制定され、親しまれてきました。今回のものは学会全体のアイコンとして、円形に包み描かれてきた枝葉と水が、より広い外部世界の地球へと成長し、やがて陰影の豊かな書物を成し惑星を支えるデザインとなっています。この成長は学会のというよりは、エコクリティシズムという世界の見方、文学の方法論としての成長を想起させるものであり、21年前にエコクリティシズムの可能性を直感し一貫してその旗印のもと活動してきた私たちの、想いと希いを反映しているのかもしれません。

人文科学の中でも文学研究に関わる学問領域では、時流の変化と退潮の中で学会活動は年々困難を増してきています。特にテーマ学会は、流行とともに盛衰はさげられません。そんな中、英米で発生し今や世界的になっている、環境と文化の多方面に測鉛を睡ろすエコクリティシズムという分野の、あらゆる知的領域の境界を超える越境志向は、一つの領域構築と秩序の形成、そこからの世界の環境と文学の俯瞰や、文学史の構築作業という従来の学会の使命と葛藤しながらも、一大ムーヴメントとして拡大と普遍化の動きを続けています。エコクリティシズムの研究領域はまさに、多様な生きものの住処である地球としての世界、社会と制度としての世界、多文化と多言語からなる人々の集合である世界を語るあらゆる領域に解放され、従来の文学研究を継承発展させていくダイナミックな垣塙のような場だともいえましょう。

しかしこうした全体像も、それぞれの培ってきた各国文学教育や作家研究や地域研究、言語研究等々の学問領域を、エコクリティシズムの諸方法論で捉えなおすという、日々の地道な研究と活動の網の目一つ一つの、エコロジー的集合から形成されているものです。この小さな学会がもし何かを成し得るとすれば、まさにそうしたエコロジー的意識による個々のローカルな場の認識と、生成を繰り返すエコクリティシズム研究全体のヴィジョンへの参画を、積極的に行う活動以外にありません。以上新しいアイコンの紹介を機に雑感を述べさせていただきました。(エコクリティシズム研究学会代表・伊藤詔子)

~~~~~

## ◆2015 年度第 28 回年次大会日時と内容の決定

日時： 8 月 8 日（土）9 時 25 分～17 時

場所： 広島市立大学サテライトキャンパス、セミナールーム 1.

<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/service/content0020.html>

プログラムとレジメは 7 月中旬発送予定、懇親会の出欠については 6 月末にご案内します。

### [特別講演]

講 師 小林 富久子先生 (AALA 代表、城西国際大学客員教授)

### [シンポジウム]

ホーソンと場所

司会・講師 大野 美砂 (東京海洋大学)

講 師 稲富百合子 (福岡大学)、城戸光世 (広島大学)、中村善雄 (ノートルダム清心女子大学)

### [研究発表]

林 千恵子 (京都工芸繊維大学)、塩田 弘 (広島修道大学)

### [ワークショップ]

日系アメリカ人文学と原爆—Juliet S. Kono の *Anshu* をめぐって

司会・講師 松永 京子 (神戸市外国語大学)

講 師 深井 美智子 (神戸女子大学)、牧野 理英 (日本大学)

~~~~~

## ◆第 27 回エコクリティシズム研究会大会に参加して

深井 美智子 (神戸女子大学)

今回は、初の神戸で、台風が接近中という中で開催された。8 月 8 日金曜日の午後から三宮のホテル北野プラザ六甲荘にて、まず *ISLE* 公開読書会が行われた。*ISLE* 2013 summer 号から 5 つの論文について、5 人の発表者から解説があった。発表者以外にも 10 人くらいが参加して、新しい論文について興味深い議論がなされた。しかし、この読書会は世話人となる人の選出が難しく、一応しばらくは休会という決定に至ったのは残念である。その後、懇親会が 25 名ほどの参加者を得て開かれた。学会のメインスピーカーである巽孝之先生も神戸市外国語大学の集中講義を終えて駆けつけてくださり、中山悟視先生やファーネル先生も交えて、大変楽しいひとりが過ごせた。



翌日は台風がかなり接近するというので、プログラムの変更も考えられたが、結局はすべて予定通り行われた。ワークショップ「*Beyond Romantic Ecocriticism-Toward Urbanatural Roosting*を読む」では、1 年間を通して自然と都会、人間がいかに相互関連していて切り離せないもの



であり、自然を理想化するロマン主義的エコクリティシズムを乗り越える必要を説く本書に書かれた主張を、5 人の分担者が非常にわかりやすく整理して発表された。次の研究発表では、岸野英美先生が Ruth Ozeki の作品をフィスキオのフードシステムの考え方を援用して分析を試みられた。一谷智子先生は、我々にはあまりなじみのないオーストラリアの先住民アボリジニとウランニウム開発の関係を B. Wonger の作品を通して紹介された。また浜本隆三先生は、最近出版された Mark Twain の自伝にパストラルな風景の記憶を五感から湧き上がる単語の多さに注目し、それが口述筆記である可能性につながるという丁寧な分析が行われた。

午後の特別講演では、巽孝之先生が Fafrotskies という空から動植物が降ってくるという現象を例にとりながら、さまざまな現象を「想定外」と周縁に追いやってしまうことに危機感を持ち我々の自然に対する認識を問い直すべきであることを、映像を用いながら非常に軽妙な語り口で問いかけられた。そして、それが 9.11 や 3.11 を「想定外」として片づけてしまう怖さにつながることに聞いていた我々が気づかされるという、非常に興味深い講演であった。



それに続くシンポジウムでは、デビッド・ファーネル先生は Kim Stanley Robinson の火星三部作と 2312 にみる「再地球環境化」について、原田和恵先生は上田早夕里の The Ocean Chronicles シリーズにおけるポストヒューマン、人口知性体について、中山悟視先生は Kurt Vonnegut の作品をエコクリティシズムの視点から読むとどのようになるか、初めての試みであったそうだが、鮮やかに分析された。私の全く知らない SF 全開の世界であったが、刺激に満ち、いかにこのエコクリティシズムがそれぞれの分野を超えた研究につながり、いかに幅広い視野が必要であるかを教えてくれた。2016 年には、他学会との初の合同大会開催も決まり、ますますこの学会がおもしろくなっていくことが期待される。



~~~~~

### ★事務局より新入会員のご紹介★

2014 年 7 月～2015 年 2 月までの新入会員の皆さまのご所属とご専門を改めてご紹介します。

荒木 陽子氏 (北海道情報大学、北米英語圏の文化・文学)

高橋 愛氏 (徳山工業高等専門学校、ハーマン・メルヴィルの小説、ジェンダー研究)

林 千恵子氏 (京都工芸繊維大学、北米先住民文学・文化研究)

松浦 陽子氏 (島根県立出雲高校、ジョン・クラカワー)

牧野 理英氏 (日本大学、日系移民を中心としたアメリカ・エスニック文学におけるトランスナショナルな民族移動) (50 音順)

~~~~~

### ★各種委員会からのご報告&お願い★

#### 出版計画委員会よりご報告

出版企画<エコクリティシズム研究のフロンティア シリーズ>助成が決定した 2 冊を報告します。

#### 1. 刊行

書 名 『スコット・スロヴィックは語る——ユッカマウンテンのように考える』(エコクリティシズム研究のフロンティア 4)

編 訳 者 中島美智子、著者まえがき、訳者あとがき、スロヴィック著作リスト付き。

解 説 伊藤詔子

刊 行 2014 年 12 月 1 日、英宝社、1,800 円。

#### 2. 近刊 (前号で報告済)

書 名 『核と災害の表象——日米の応答と証言——』(エコクリティシズム研究のフロンティア 3)

編 著 者 熊本早苗/信岡朝子

執 筆 者 伊藤詔子/小川春美(岩手県立大学)/ゴーマン、マイケル/トンプソン、クリストファー (オハイオ大学) /中野和典 (福岡大学、原爆文学研究会) /松永京子 (50 音順)

刊行予定 2015 年 3 月末日、英宝社。

シリーズ全体の構成と予定については、大会総会にて報告します。

### **共著編集委員会より**

『エコクリティシズム研究のフロンティア 別冊』（仮）（共著、音羽書房鶴見書店より刊行予定）を企画しています。投稿希望者は3月7日までに、アンケート回答を副代表宛に提出をお願いしています。5月の役員会で、内容を正式決定し、書式なども執筆予定者に配布予定です。

### **（国際）広報委員よりお願い**

出版や学会に関する情報を会員の皆様と共有していきたいと思っております。本研究学会に関連する内容の書籍や論文の出版、学会などについての情報を広報委員までお知らせください。

宛先：大野美砂 [misa@kaiyodai.ac.jp](mailto:misa@kaiyodai.ac.jp)

### **ホームページ委員よりお願い**

ホームページに掲載する原稿を常時受け付けています。宛先：三重野佳子 [mieno@nm.beppu-u.ac.jp](mailto:mieno@nm.beppu-u.ac.jp)

- (1) 「旅する会員」ページ：旅先や研修先などで撮られた写真を記事と一緒にお願いします。PDFで掲載しますので、ワードなどでページに載せる形に整えてお送りください。
- (2) 「エコクリティシズムテーマの概要」で、新たなテーマの提案がありましたら、お願いします。出版委員会で掲載を検討します。
- (3) 事務局宛に寄せられた会員の出版情報を News ページで研究情報として掲載します。

### **会費納入のお願い**

年会費 4000 円（学生会員 3000 円）のご納入を4月末日までをお願いします。学会と出版企画委員会にご寄附いただける場合は、その旨振込用紙の通信欄にお書きの上、どうぞよろしくお願ひいたします。

振込先： ゆうちょ銀行 加入者名 エコクリティシズム研究学会 口座番号 01380 - 4 - 96525

### **住所、ご所属、メールアドレスの変更届のお願い!!**

この春、住所やメールアドレス・所属等に変更があった方は、平瀬洋子宛て ([danbara@mpd.biglobe.ne.jp](mailto:danbara@mpd.biglobe.ne.jp)) に必ずご連絡下さい。

~~~~~  
2015 年 3 月 10 日 エコクリティシズム研究学会事務局発行

エコクリティシズム研究学会 代表 伊藤 詔子

事務局 〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町 1-1 山陽女子短期大学 水野敦子研究室 [mizuno@sanyo.ac.jp](mailto:mizuno@sanyo.ac.jp)

〒739-0321 広島市安芸区中野 6-20-1 広島国際学院大学 平瀬洋子研究室 [danbara@mpd.biglob.ne.jp](mailto:danbara@mpd.biglob.ne.jp)